

# 豊寿園

FRUITFUL TREE

## 豊かな樹

Spring 2024

Vol. 62

JAPANESE RED CROSS  
SOCIETY FUKUOKA  
PREFECTURAL CHAPTER  
THE SPECIAL NURSING HOME  
HOJYUEN

TOPICS

AREA INFORMATION

HOJYUEN×FAMILY

HOJYUEN'S ALBUM



# トピックス

T O P I C S



## 新年度の辞令交付式!

令和6年度になり、豊寿園では新入職員や異動者を迎えました。

〈採用〉

實松愛美 私立慶成高等学校⇒特養1階介護職員

〈異動〉

森 務 日赤福岡県支部 ⇒豊寿園事務課長

渡邊雄樹 日赤太寿園 ⇒豊寿園経理係主事

池尻朋文 豊寿園事務課長 ⇒献血ルームキャナルシティ

村上友菜 豊寿園庶務係 ⇒日赤福岡県支部

飯田健太 豊寿園介護主任 ⇒豊寿園生活相談員



## 新嘱託医師のご紹介!

4月1日より、みやび内科眼科クリニック松永先生に代わり、施設の嘱託医師を門司掖済会病院 内科部長の藤島慎一郎先生に務めていただくこととなりました。今後は、藤島先生の指示のもと、利用者様の健康管理をおこなってまいります。



写真 ワクチン接種の様子

## 新型コロナのクラスターが発生!

3月31日に、2階特養棟内で新型コロナウイルス陽性者が発生し、クラスター状態になりました。4月11日までの間で、利用者様35名、職員7名の計42名が感染しました。その間、ご面会やショートステイの受け入れを中止することとなり、大変なご迷惑をおかけいたしました。今後、同様のことが発生しないよう、感染対策に努めてまいります。

## 地域ぶらり情報



## 花のある暮らしを初めてみませんか・・・

門司駅より戸ノ上に向かい、御所神社前信号を左に曲がり少し歩いたところにおしゃれな花屋『Olive-FlowerShop-』があります。以前からお花に関係する仕事についており、いろんな世代の方にもっとお花を楽しんでいただきたいと思っていましたが、”お花は高いから買えない”というイメージがあり、そんなイメージを変えるために、一輪のお花を飾るだけでも楽しくなるようなお花を、生産者農家より仕入れられています。私たちが知っている花も品種改良で違う花に変わっていきあつ！と驚くことも。プレゼント用のブーケだけではなく、ウェディングブーケやフォトブーケ、お供え用のアレンジなども受けています。

また、これからの季節は仏壇のお花が長くもたないため、長く飾れるおしゃれなお花も提供されています。店内にはドライフラワーも沢山あり、長く楽しめるのでお気に入りのドライフラワーを見つけ、フラワーベースを変えて飾るのも楽しいと思います。大切な誰かのために、自分のために素敵なお花を買って飾ってみませんか？気持ちの高まりや小さな喜びを感じられるのではないのでしょうか。ぜひ一度、お花を買いにお店へ行かれてみてはいかがでしょうか？

### 『Olive -Flower Shop-』

北九州市門司区大里戸ノ上1丁目5番11号  
OPEN 10:00 ~17:00  
店休日 木・日曜日  
TEL 093-287-5225



## あとながき

出会いと別れの春がきました。人事異動や退職などで慣れ親しんだ職員との別れもあれば、新規採用での新たな出会いもあり、また、介護報酬の改定もあり、利用料金に変更が生じるなど、あわたしく桜の季節を迎えました。

新たに学校を卒業後、豊寿園に加わった新人さんの一生懸命に業務や技術の習得に向き合っている姿を見てみると、「私も何か頑張らねば」、という気持ちになってくるから不思議です。年度末の忙しさにかまけて、トレーニングではなく付属しているカラオケだけをするために数回通ってから数カ月、完全な幽霊会員になってしまったジムへ、夏の健康診断までに引き締まったおなかを手に入れるべく、再び通いだそう、と心には誓いました。

豊寿園では、新人さんの頑張りに刺激を受け、それぞれが様々な事に取り組んでいます。そのすべてはこの「豊かな樹」でご紹介していきます。今後も、豊寿園に是非、ご期待ください。

広報担当 森 英樹

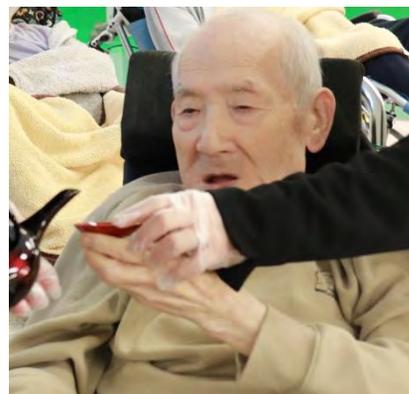


今回表紙を飾ってくれたのは、特養2階で勤務されている、前田 莉羅(まえだりら)さんです。高校卒業後に入職された3年目の若手職員です。プライベートでは愛兔のお世話で忙しい合間をぬって、普段はおとなしい彼女が、私たちが一度も見たことがないような衣装を身にまとい、屋外での撮影に協力してくれました。

# あなたと向き合った日々

HOUJYUEN × Family

今回は、令和5年8月に豊寿園でお看取りさせていただきました桃井副治様の利用開始から最期の時までの経過について、ご家族の了解のもと、園内の記録をもとにご紹介します。



今回ご紹介する桃井副治様。  
やさしく、ユーモラスな方でした。

施設内をウロウロ歩かれたり、周囲に対する興奮などが見られたことから精神科医療機関へ入院され・・・

桃井様は前妻と離婚後、門司区内で独居生活をされていました。前妻の子どもさんたちからは「じいちゃん」「おいちゃん」と呼ばれており、明るく、まめな人だったそうです。趣味はカメラで、出かける際には持ち歩き、人や風景などをよく撮影されていました。また、グラウンドゴルフや老人クラブでひょうとこ踊りの活動に参加されるなど楽しい日々を過ごされてきました。高齢となり認知症を発症したことで、持病の通院も途絶えがちになっていっ

たことから有料老人ホームへ入居されました。しかし、入居後は帰宅欲求から落ち着かず、施設内をウロウロ歩かれたり、周囲に対する興奮などが見られたことから精神科医療機関へ入院、高度アルツハイマー型認知症の診断を受け、内服治療を受けられました。治療の甲斐あつて行動が落ち着かれたことから令和4年5月に豊寿園に入所されました。

一気になる場所へ歩いて行こうとされるため転倒が心配な状況でした。一

入所時は、食事をご自分で召し上げる以外には介助が必要な状況で、お独りで歩くのは危険であるにも関わらず、気になる場所へ歩いて行こうとされるため転倒が心配な状況でした。環境の変化もあつたのか、徐々に他者私物を集めたり、身体介護への拒否的な言動も見られるようになってきたため、精神科嘱託医にも相談しながら過ごしていただけていました。

入所から2カ月が経過した8月。桃井様のフロアで豊寿園でも初めてとなる新型コロナウイルス陽性者が発生し、瞬く間にクラスター状態となりました。桃井様も程なくして感染され、居室

内での療養を送っていただくことになりました。

熱などの症状はすぐに落ち着かれましたが、食欲不振となり徐々に体力の低下がみられ、ベッド上での生活にならていきました。また、ベッド上での生活と栄養状態の悪化により仙骨部に褥瘡が発生してしまい、重症化していき

ました。1カ月半でフロアのクラスターは終息しましたが、桃井様は褥瘡の治療もありベッド上での生活が中心で拒否による食事が不安定な状況は継続していきました。そのため、精神科嘱託医へ内服薬の減量を相談したり、泌尿器科や整形外科、消化器内科などを受診していただきながら食欲不振の原因を一つずつ消していった結果、2カ月後には食事が安定するようになり、褥瘡も徐々に改善していききました。桃井様自身の精神面も落ち着かれており、職員との会話を楽しまれるように変化していききました。前妻の子どもさんが面会に来られた時には、とても喜ばれていました。

誤嚥性肺炎のため総合病院に入院となりました。一

そんな状態が半年ほど続きましたが、

令和5年6月に熱発、誤嚥性肺炎のため総合病院に入院となりました。入院後、肺炎は完解しましたが、点滴を中止すると血尿が見られるようになり、入院期間も長期化していききました。その中で、一時は摂れていた食事もあり、拒否が見られるようになり摂取量が減少していきました。

― 看取り対応で退院されることになりました。 ―

7月後半となり、病院内でご家族と豊寿園職員を交えたカンファレンスが行われました。病院側からは点滴や排尿の管理が可能な医療機関での長期療養も提案されました。豊寿園に看取り対応で戻ってこられる場合には、血尿の再燃など様々なリスクがあることも説明しながら、ご家族と対応を相談していった結果、ご家族は、対処療法のために知らない場所へ移り、不自由な生活を送らせるくらいなら、慣れた豊寿園で最期まで過ごさせたい、と希望され看取り対応で退院されることになりました。

― 以前の半分程度の食事、水分しか摂取できない日が続きました。 ―

令和5年8月2日、総合病院を退院され、園内での看取り対応を開始しました。豊寿園に戻ってこられた桃井様は痩せてはいたものの、声掛けには入院前と同じ雰囲気です返答されていました。痰が常に絡んでおり、食事を介助しても激しく咽こまれる状況でした。口腔ケアや痰の吸引で環境を整えても、良い日でも以前の半分程度の食事、水分しか摂取できない日が続きました。それでも声をかけると、やさしく「ユーモアのある受け答えをされ笑顔も見られていました。」

― 声をかけると目を開けて返答される状況がそれから1週間つづき。 ―

退院から1週間が経過し、食事、水分は全く入らなくなりました。目を閉じていることが増えてはいましたが、それでも声をかけると目を開けて返答される状況がそれからさらに1週

間つづき、ご家族が面会に来られた際にも声掛けに大きくうなづかれる仕事も見られました。

退院から2週間が経過した頃、声掛けへの反応はなくなり、呼吸状態が変化してきました。

8月19日 明け方から浅く、早い呼吸。足先にはチアノーゼが見られていました。そして夕方、呼吸がさらに変化し無呼吸が見られるようになり、数回喘ぐような呼吸をした後にすべてが静かに止まりました。

後日、桃井様の葬儀に参列させていただきましたと、お元気な頃の写真を遺影にされておられ、そこには私たちには想像ができないほどに恰幅がよくて、私たちのよく知っている優しいような笑顔をたたえた桃井様がいきました。私たちは優しく、ユーモラスな桃井さんを忘れません。



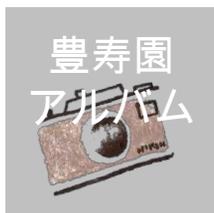
入院前に行事に参加された時の様子。

## 年賀式



1月 新年の始まりに、和布刈神社でいただいたお神酒をお配りしました。

## まめまき



2月 やけに明るい鬼が登場。利用者様全員で退治して、今年の健康を祈りました。

## 花見



3月 豊寿園自慢の桜が開花。早速、愛でにでかけました。

## ひなまつり



3月 桃の節句でおいしいデザートを食べ、記念撮影をしました。

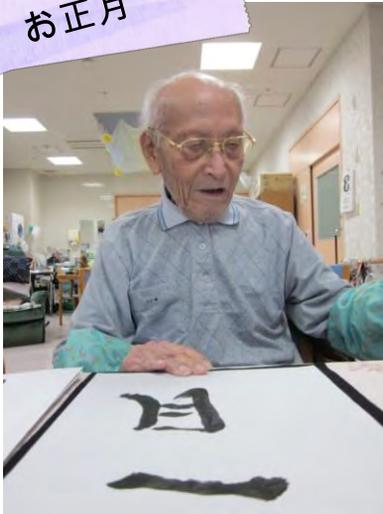
デ イ サ ー ビ ス

年賀式



1月 園長よりお屠蘇をいただき  
久しぶりのお酒を嗜まれて  
いました。

お正月



1月 お正月は書初めや福笑いを楽しまれました。



おやつ作り



3月 クレープを見事な手さばきで  
焼かれていました。

ひな祭り



3月 ひな壇の飾りを見ながら楽しみました。

保育所交流



3月 保育所に卒園見のお祝いに行きました。

Spring2024

Vol . 62

TOPICS

AREA INFORMATION

HOUJYUEN\*FAMILY

HOUJYUEN'S ALBUM



# FRUITFUL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOUJYUEN